

都道府県名：山形県	市町村名：村山市
<p>1. 活動名 河島山豊かな森づくり事業</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 多種多様な動植物が生育する自然が残っている河島山は、利用者の安全と景観維持に配慮しながら保全すべき貴重な里山となっており、自然回復力を超えない範囲の適度な自然利用を継続しながら地域内の自然環境を保全していく必要があります。 そこで本活動では、地元団体との協働により、里山整備と植物の保全活動を推進するとともに、環境教育・自然体験のフィールドとして里山を活用することを目的としています。</p>	
<p>3. 実施主体 村山市、杉島里やまの会（地元ボランティア団体）</p>	
<p>4. 取組の概要 里山に自生する植物の再生・保全活動、里山整備としての支障木処理活動、地元小学生との環境教育を実施しました。 事例として、里山から切り出されたナラをホダ木として利用し、地元小学生に原木なめこの菌打ちを体験してもらいました。 また、遊歩道として利用されている里山の整備として、沿線の支障木を処理しながら木材チップ化し、遊歩道に敷き詰める作業を協働で実施しました。</p>	
<p>5. 支援事業 山形県みどり環境交付金事業 補助率 10/10</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 里山整備と自然体験活動を通して、地域住民や児童らに里山の重要性や関心を持ってもらうことができました。今後も、持続的な里山整備や地域住民の理解と積極的な参加を得るためには、継続して地元協働による里山保全活動を推進していく必要があります。</p>	



原木なめこ体験栽培

地元の活動団体が主体となり、里山における環境教育として、地元の小学生になめこの菌打ちを体験してもらいました。ホダ木には、里山の遊歩道整備の際に切り出したナラを利用しました。



遊歩道の木材チップ敷き作業

地元の活動団体との協働により、里山の遊歩道沿線の支障木を切り出し、木材チップ化して遊歩道に敷き詰める作業を実施しました。

